

大阪府死因究明施策の推進について

令和8年9月30日(水)
大阪府健康医療部保健医療室
保健医療企画課



大阪府広報担当副知事もずやん

大阪府死因調査等協議会について

設置に至る経緯及び目的

大阪府では、高齢化や医療機関で亡くなる方が増えたという社会情勢の変化を踏まえ新たな死因調査体制について意見を求めるため、平成28年に「大阪府死因調査等あり方検討会」を設置し、死因調査体制の検討を開始。平成29年に死因の調査及び身元の確認の体制の整備に関する施策についての調査審議に関する事務を担うため、知事に意見具申を行う大阪府附属機関条例に基づく、「大阪府死因調査等協議会」を設置し、府域の死因究明施策の推進に取り組んでいる。

協議会構成委員

大学教授（法医学）、救急医、公衆衛生医師や、医師会、歯科医師会、警察医会、訪看ST協会、住民代表（NPO法人）、警察本部、地方検察庁、海上保安庁等に属する方 *委員12名

開催回数・内容

○年1回（計画策定時は2回）開催
（議題）

- ・大阪府死因究明に関する施策の進捗状況について
- ・大阪府死因究明等推進計画の検討
- ・死因究明等施策の推進について（厚生労働省報告） 等

第2期大阪府死因究明等推進計画について

死因究明等推進基本法の施行や閣議決定された「死因究明等推進計画」策定を踏まえ、本府においても死因調査等協議会での議論を経て、令和5年3月に「大阪府死因究明等推進計画」を、その後、政府の計画が変更されたことを踏まえ、令和8年3月に「第2期大阪府死因究明等推進計画」を策定。《計画期間：令和8年4月～令和11年3月》

基本的考え方

第2期計画では、基本理念や現状、これまでの取組、課題等を踏まえ、第1期計画での2つの基本方針、「死因診断体制の整備」、「適切な検査・解剖体制の構築」、「施設の連携・強化」に「施策推進のための環境整備」4つの重点施策の取組を引き続き推進し、死因究明等の体制整備に向けて取り組んでいく。

基本方針

- 超高齢多死社会に対応していくため、現行の監察医制度を活用しながら、正確かつ適切な死因を特定する死因究明等の実施体制を府域全体で整備していく。
- 死因究明等の実施体制整備にあたっては、大阪市内と大阪市外で対応が異なる検案体制の均てん化に継続して対応する。

第2期大阪府死因究明等推進計画について

基本方針を踏まえた重点施策と方向性

重点施策	計画における取組の方向性
1 死因診断体制の整備	・臨床医の死因診断レベルのさらなる向上 ・死因究明等を担う人材不足への対応 ・警察医（大阪市外）の高齢化、人材不足への対応 ・警察医等の検案技術の向上
2 適切な検査・解剖体制の構築	・死亡時画像診断等の導入と市外での活用による均てん化 ・薬物検査等各種検査の充実 ・解剖や大規模災害に際しての遺族への配慮 ・検案、解剖等で得られたデータの利活用（熱中症等）
3 施設の連携・強化	・検査・解剖が可能な協力施設の確保・連携推進 ・監察医事務所の老朽化対策
4 施策推進のための環境整備	・穏やかな看取りを希望する本人や家族の心情に配慮した対応の仕組みづくり（人生会議の普及啓発） ・情報の適切な管理（国CDR※検討会を踏まえた対応） ・府域全体での身元確認体制の整備 ※ CDR…Child Death Review: 予防のためのこどもの死亡検証

大阪府死因究明等推進計画（令和5年3月策定）の取組について

計画の達成状況

全ての項目について、概ね目標を達成している状況（14項目中全て○）

（凡例）

○・・・計画通り達成 △・・・進捗しているものの、計画目標を達成していない ×・・・進捗していない

（Ⅰ）死因診断体制の整備

【一部抜粋】

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標 [R7年度末までの目標]	計画3カ年の取組状況及び実績	目標 達成 状況
① 臨床医における医療の最終行為としての死因診断に対する意識やレベルのさらなる向上 ○臨床医向け研修 救急医及び在宅での看取りを見据えた臨床医向けの死亡診断書作成にかかる研修実施	・受講者数 毎年100名以上	○救急医及びかかりつけ医を対象とした研修及び死因診断に関するアンケートの実施（大阪府医師会委託） （救急医向け） ・オンデマンドによる研修配信を3カ年実施 毎年100名以上が受講 （かかりつけ医） ・オンデマンドによる研修配信 毎年100名以上が受講 ・令和6年度からは2カ年計画で郡市区医師会におけるビデオ研修会を開催	○

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標 達成 状況
② 死因究明等を担う人材不足への対応 ○人材の確保・育成 ・監察医事務所での解剖実習受け入れ ・大学若手医師の検案業務従事	・実習生受入数 年間10名以上 ・監察医の委嘱数 3年間で5名以上	○人材確保・育成 ・監察医事務所 実習生の受入 302名 (R7年12月末時点) ・監察医の委嘱 6名(R5年度～) ・監察医確保のための実習支援事業 制度を活用した医師数:8名(R6年度～)	○
③ 大阪市外の検案を実施している警察医の高齢化、人材不足への対応や業務負担に対するサポート体制の充実 ○警察医に対する読影技術向上研修	・大阪市外の警察医が死因判定に悩んだ際、サポートできる仕組みづくり	○警察医を対象とした検案技術向上研修の実施 【実施実績】 ・R5年度 講義研修実施:1回 ・R6年度 講義研修:2回(9月、10月) 検案同行研修:6回(9月、10月) 延べ参加人数:22名 ・R7年度 講義研修:3回 検案同行研修:4回 延べ参加人数:11名	○

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標達成状況
④ 検案技術の向上 ○救急機関との相談体制の構築等 ・救急医と監察医の意見交換 ・救急医の死因診断レベル向上	・大阪市内の救急医療機関と監察医の意見交換を継続し、日頃から相談できる体制構築	・救急医療機関との意見交換(R5年度～)5回実施 ・救急医を対象とした研修及び死因診断に関するアンケートの実施(大阪府医師会委託) (救急医向け) ・オンデマンドによる研修配信を3カ年実施 毎年100名以上が受講 ・令和6年度からは2カ年計画で郡市区医師会におけるビデオ研修会を開催	○

(2) 適切な検査・解剖体制の構築

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標達成状況
① 検案、解剖等で得られた貴重なデータの利活用 ・監察医事務所で得られたデータを公衆衛生向上に活用するための提供手法検討 ・ホームページ掲載中の孤独死や熱中症データの内容充実 ・情報の適切な管理に関し、関係者への必要な情報の提供 ・身元確認のための大規模データベース構築に向けた国の動向注視	・公衆衛生向上に資する府民や関係機関への効果的な情報提供	【学会発表】 ・第109次日本法医学会学術全国集会において「大阪府監察医事務所における死後CTおよび血液検査を用いた浴槽内死亡例の検討」を発表（6月） ・第64回近畿公衆衛生学会において「大阪府監察医事務所における食物誤嚥による窒息死の検討」を発表（9月） ・第72回日本法医学会学術近畿地方集会において、「大阪府監察医事務所が取り扱った浴槽内死亡の実態～第一報～」を発表（11月） 【論文投稿】 ・雑誌 公衆衛生2025年10月vol.89において「大阪市内における暑熱期死亡例の経年的変化に関する分析」の論文を投稿、承認（6月） ・法医学の実際と研究68版において「監察医事例におけるCTと血液検査を用いた敗血症の診断について」の論文を投稿、承認（10月） 【ホームページ】 ・監察医事務所ホームページで「2025年熱中症死亡例に関する統計」を公表（12月）	○

(3) 施設の連携・強化

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標 達成 状況
① 監察医事務所の老朽化への対応 ○監察医事務所の設備等の対策 監察医事務所の円滑な運営のため、 国庫補助金を継続して活用	・施設や設備充実	○監察医事務所の設備等の対策 ・医療施設運営費等補助金を活用した運営 ・監察医事務所の老朽化対策にかかる手法について、調査・検討を実施	○

(4) 施策推進のための環境整備

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標 達成 状況
① 穏やかな看取りを希望する本人や家族の心情に配慮した対応の仕組みづくり ・遺族対応のノウハウについて他府県の好事例を共有	・研修実施 (概ね年1回)	○遺族対応研修の実施〔再掲〕 R6年度:1回 R7年度:1回	○

(4) 施策推進のための環境整備

計画に基づく施策の方向性及び取組み	目 標	計画3カ年の取組状況及び実績	目標 達成 状況
② 大規模災害の発生に備えた身元確認体制の整備 ・身元確認訓練実施に向けた関係者による協議	・大規模災害発生を想定した関係者による身元確認訓練の実施 (3年以内)	【R5年度】 ・図上訓練の実施(R6年1月) [参加機関] 大阪府(保健医療企画課、監察医事務所)、 大阪府警察本部(検視調査課) 大阪府歯科医師会、大阪府医師会 【R6年度】 ・関西国際空港航空機事故消火救難総合訓練での身元確認訓練の実施(R6年10月) [参加機関] 大阪府(保健医療企画課、監察医事務所)、 大阪府警察本部(検視調査課) 大阪府歯科医師会、大阪府医師会 ・身元確認訓練(連絡体制訓練)の実施(R7年1月) 【R7年度】 ・身元確認訓練実施(1/20) [参加機関] 大阪府(保健医療企画課、監察医事務所)、 大阪府警察本部、大阪府歯科医師会、 大阪府警察医会、泉佐野市、大阪府医師会 等	○

ご清聴ありがとうございました

